



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

受講
無料

2026年度 金沢大学公開市民講座

先着
30名

要事前
申込

能登が育てるもの

ー復興のその先に生まれる学びー

能登半島地震から2年9か月が経過し、被災地域では復興への活動を通じて新たなつながりや地域の力が育まれてきました。この間、本学も幅広い分野で研究・実践活動を展開し、学生たちも現場での活動を通じ大きく成長を遂げています。一方、7月の熊本地震をはじめ各地で相次ぐ災害は、防災・復興を継続的に考えることの重要性を改めて問いかけています。この講座では、能登との関わりの中で育まれた地域力、研究成果、学生の成長に着目し、復興のその先にある新たな価値と可能性を考えます。

10月3日(土) 14:00～16:30

会場/Hirooka Terrace(広岡テラス)13F 1301

14:00～14:10

開会挨拶

金沢大学 理事(地域共創担当)

三浦 要

読売新聞 北陸支社長

渡辺 英俊

14:10～14:30

地域のつながりに寄り添う
～「健康づくりのひろば」の活動から～



金沢大学
名誉教授

表 志津子

能登半島地震後、被災された方々の健康支援と居場所づくりを目的に「健康づくりのひろば」を続けてきました。

人と人とのつながりが育む健康について、地域の方や学生・多職種との活動を交えてお話しします。

14:35～14:55

多重災害からの復興と
水辺を活かした地域づくり



金沢大学 人間社会研究科
地域創造学系 講師

坂本 貴啓

奥能登の町野地域では、地震・豪雨の多重災害を乗り越え、町野川の水辺を活かした多主体連携によるまちづくりを進めています。

「子どもが遊べる川」「生き物豊かな川」づくりの最新線を紹介しします。

15:00～15:20

能登の小学校における学生コンサート
～学生・子ども・地域をつなぐ音楽～



金沢大学 人間社会環境研究科
地域創造学専攻博士前期課程2年

鈴木 淳之介

能登地域の小学校で、音楽を通じて子どもの心の支援と地域連携を目指し、金沢大学学生による「みんなでつくる」コンサート活動を実施しました。

子どもに寄り添った支援のあり方や大学と地域とのつながりをお話しします。

15:30～16:30 トークセッション

私たちは能登から
何を学んでいるか



金沢大学
能登里山里海未来創造センター
特任准教授

高原 耕平

読売新聞
輪島支局記者

渡辺 洋介

読売新聞
珠洲通信部記者

荒牧 尚志

金沢
大学生

【主催】金沢大学先端科学・社会共創推進機構

【共催】読売新聞北陸支社

【後援】金沢大学能登里山里海未来創造センター

参加には事前申込が必要です。
Web・お電話でお申し込みください。

申込期限 10月1日(木)



参加費

無料

定員

先着30名

申込期限

令和8年10月1日(木)

会場のご案内 Hirooka Terrace(ヒロオカテラス) 〒920-0031石川県金沢市広岡2丁目12-24

交通案内

※公共交通機関を利用くださるようお願いいたします。

- 「金沢駅」から徒歩5分
- 「北鉄金沢駅」から徒歩7分
- 北陸鉄道バス「金沢駅」から徒歩1分
- 加越能バス「金沢駅西口」から徒歩2分

駐車場(有料)

- Hirooka Terrace(ヒロオカテラス)内駐車場はキャッシュレス決済となっております。
- 近隣施設の駐車場は、公共の駐車場ではありません。それら施設の駐車場及び周辺の無断駐車はおやめください。満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



申込方法 事前申込が必要です。申込フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。

Webでのお申し込み

<https://recurrent.w3.kanazawa-u.ac.jp/lecture/623/>

または右記の二次元コードからアクセスください

お電話でのお申し込み

076-264-5273 または **076-264-5269**



お申し込み・お問い合わせ

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

〒920-1192 石川県金沢市角間町 TEL: 076-264-5269, 5273 E-mail: manabi@adm.kanazawa-u.ac.jp 受付時間/9:00-17:00(土日・祝日を除く)